

金武町
教育委員会
広報
【第52号】



**プロ野球選手が
金武町にやってきた!!**

取り組みが実った！！

沖縄県到達度調査の結果、金武中学校が 国語・数学で県平均を、 理科で国頭地区平均を上回りました。

本町は、これまで県到達度調査の結果が、国頭地区平均にも届かない厳しい課題を抱えていました。中学校では、その改善に向けて次のような様々な取り組みがなされてきました。

ア 朝ドリルの実施・勉強へ向かう態度の育成、基礎学力の育成を図りながら教え合う学習の文化を形成していった。

イ 授業公開月間の実施・教師の指導力向上に向けて、全教員に公開授業を課した。

ウ 宿題の配布・家庭学習の定着、授業と連動させて学習内容の定着を図る。 ※宿題を提出しなかった生徒は、教師がついて放課後居残り学習をさせる。

エ 「授業の決まり三箇条」の継続・ベル席点検週間を設定するなど、学習する雰囲気づくりを推進。

オ 個別支援・学習支援員による個別支援で習熟度の向上を図る。

先生方は、「どうすれば学力が上げられるか」という視点ではなく、

「学校、家庭、生徒の課題は何か」という視点で、それぞれの課題改善に向けて次のような取り組みもしてきました。

○ 先生方の課題として、「生徒のやる気や意欲を起させる授業」のやり方や授業の構築」等の授業改善に向けた研修。

○ 生徒の課題として、学習を支える力を育てる、基本的生活習慣の形成等に向けた取り組み。

○ 授業と連動した宿題を、保護者との連携や支援等で家庭学習の定着を図る。

教育委員会は、次のような項目について評価の提出を求めています。

◎ チャイムを意識した時間のけじめ、学習用具の前日準備等の基本的姿勢を身につける。

◎ 教師は授業の「ねらい」が明確で、児童生徒に学習に対する興味関心を持たせている。

◎ 家庭では、家庭学習を習慣化させている。

町内の学校は、凡事徹底、一事徹底にこだわってきました。これは、

当たり前のことが当たり前にできる児童生徒を育てることが、教育の質の向上につながり、学力の向上につながるかと捉えて取り組んできました。この地道な取組が徐々に成果として表れてきたのだと考えています。

小学校においても、国語A B問題、算数A B問題で県平均を上回るようになってきました。これまで、課題であった国語と算数B問題に成果が見られたのは、特筆する事だと考えています。

※A問題…主として「知識」に関する内容

※B問題…主として「活用」に関する内容

25年度より、金武町は学校、家庭、地域が足並みを揃えて実践できる項目を設定し、これを、金武町共通実践項目として推進していくつもりです。推進に当たりましては、町民のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

金武町学力向上推進実践報告会

ねらい 学力向上推進の取組と成果や課題を認識させ、保護者からの理解や協力が得られるようにする。

前述のようなねらいをもって、各校で学力向上推進実践報告会が開催されました。

中川小学校 2月3日(日)

学習発表会の中で報告会がもたれました。保護者や地域の方々が大勢参加され、より多くの方々へ中川小の成果や課題を踏まえた改善策が認識され、保護者や地域の方々から「よりよい協力や連携が図られるのでは」と期待を寄せているところです。



金武中学校 2月15日(金)

当日は、授業参観から始まりました。全学年で学級活動の取組が公開され、それぞれの学年における進路に関する取組が行われ、落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されておりました。3年生は入試直前ということで、面接練習等が行われており、生徒同士や先生との練習で面接官役の生徒はなりきって対応しており、面接を受けている生徒が緊張している面持ちは微笑ましく思いました。実践報告会では、これまでの取組や県到達度調査の成果、アンケートの結果から見てきた課題等の改善策が示され、次年度に向けては、「これまでの成果や課題等を踏まえて取り組みたい」と述べられ、力強い決意の程がうかがえました。

嘉芸小学校3月5日(火)

フォーラム(一同に会して集まった皆で考える会)形式という新たな趣向で開催され、フォーラムのまとめ役をPTA副会長に担っていただきました。PTA会長、読み聞かせボランティア、部活動指導者、地域指導者の方々がフォーラムに参加され、実りある意見の交換等がなされ意義のある実践報告会でした。

金武小学校3月8日(金)

授業参観から始まりました。今年度算数を中心に「学び合い」を推進していることもあり、掲示物に、学び合いの約束が示され、ねらいや意義、心構えが分かりやすくまとめられているなど、他の掲示物も実践に生かされるように工夫されているのに感心しました。

学校生活面、学習活動面の取組や成果・課題、がんばりノートの活用状況等の説明がありました。その後、児童発表として県の童話お話大会で最優秀賞を受賞した仲間こころさん、5年生の総合的学習や金管バンド部の発表があり、文武における充実を目指した学校の取組が、参加された方々に紹介されていました。

町内小学校6年生交流

ねらい 学校入学前に町内3校6年生の交流を図り、スムーズな中学校生活が送れるようにするとともに、交流活動を通して自主性と社会性を育む。

前述のようなねらいをもって、2月6日（水）に金武町立体育館で実施しました。

前半は、みんなの協力や、臨機応変な判断や対応が求められるゲームを意図的に仕組み、積極的に参加するように支援にしたことで、開始当初の緊張した面持ちが解かれ親睦が図られました。

後半は、金武中学校生徒会からの中学校の紹介があり、児童からの質問への受け答えなど和やかな雰囲気で開催され、中学校生活の概略を知ることが出来て、入学後の中学校生活がスムーズに送られるのではないのでしょうか。



子ども会がまつり開催!

去った1月27日(日)に金武町子ども会育成連絡協議会主催による金武町子どもまつりが中央公民館で開催されました。「みんなで楽しくHAPPYフェスティバル」をテーマに掲げ、1カ月前前からジュニアリーダー(中・高校生)でまつりの内容を企画し、おぼけ屋敷や物作りコーナー、体験コーナー、飲食コーナーなどを設置し、約300名の来場者を迎え賑わいました。また、入場料や物販を通して得た収入はメッシュサポートへ全額寄付します。



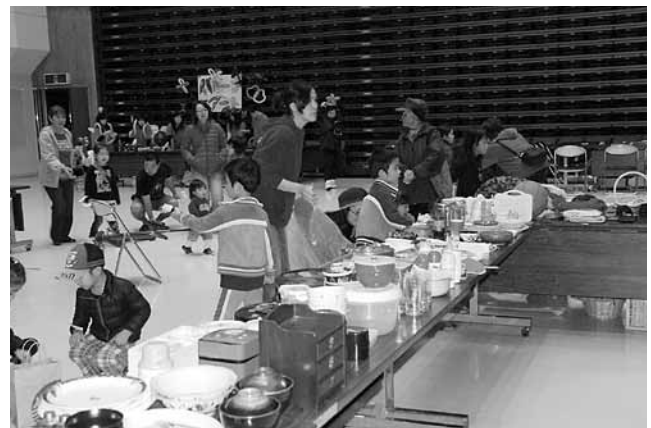
▲パターゴルフ



▲わりばし鉄砲づくり



▲もちつき実演 おもちに雑煮、おいしかった!



▲バザー 安いよ、安いよ!



▲みんなでレク大会 力を合わせて…



▲何をするのかな?

今年も開催！

少年野球教室



去る2月16日(土)～24日の間、金武町ベースボールスタジアムで東北楽天ゴールデンイーグルスが春季練習をおこないました。春の日差しがこぼれる中、歓迎セレモニーを終え少年達のおまじかね、町内少年野球チーム合同で東北楽天ゴールデンイーグルスが主催する「少年野球教室」を去年に引き続き開催しました。少年達は青空の下、さっそうとグラウンドを駆け巡り、プロ野球選手と共に笑顔と汗を流していました。

また、楽天の星野仙一監督は、「この町からプロ野球界に入り、一緒にプレーする選手が出て欲しい」と話していました。



▲トスバッティング指導のようす



▲キャッチボールを見守る嶋選手



韓国のプロ野球が今年も来町！

去る2月11日～15日、25日～3月6日に韓国のプロ野球チーム、起亜(キア)タイガースが春季練習のため金武町ベースボールスタジアムに訪れました。春季練習ではバッティングやバント、ノック、基礎トレーニングなどで汗を流していました。

また、国内からは阪神タイガースと楽天ゴールデンイーグルスが春季練習の為、金武町を訪れ来シーズンに向け仕上げ調整を行いました。

起亜タイガースが金武中学校と少年野球にボール寄贈

韓国のプロ野球チーム起亜(キア)タイガースが金武町ベースボールスタジアムを訪れ、球団から金武町内の少年野球チーム6チームと金武中学校野球部に練習用ボール10ダースの寄贈がありました。起亜の宣銅烈(ソン・ドンヨル)監督は「金武町の野球人口が増え、世界で活躍する選手が出てきて欲しい」と話していました。



▲起亜タイガースから寄贈されたボールを金武中に手交する仲間一教育長

金武町長杯少年野球大会 金武ジュニアスターズが連覇!



3月9日から2日間、金武町ベースボールスタジアムで「第2回金武町長杯少年野球大会」が行われました。この大会は、金武町ベースボールスタジアムの落成記念として昨年から金武町と金武町教育委員会の共催で開催されています。大会には金武町内の少年野球チーム6チームが参加し、2日間にわたり太陽のもと監督を筆頭にチーム全員が一つになり熱い戦いを繰り広げました。決勝戦では金武ヴィクトリーキッズと金武ジュニアスターズが熱戦を繰り広げ、5対2で金武ジュニアスターズが金武ヴィクトリーキッズに勝利し2連覇をなしとげました。



ウエイトリフティングで全国大会3位に!



昨年10月28日に行われた全日本実業団パワーリフティング選手権大会にて、安富秀司さんが見事3位に輝きました。また、11月に行われた県民体育大会では優勝に輝いています。毎年全国大会で活躍する安富さんを町民の皆様も激励し、今後の活躍に期待しましょう!

体験活動事業

親子でクライミング体験を実施！

2月23日(土)に浦添市にある施設でクライミング体験を実施しました。

対象となったのは町内の小学生とその保護者で、町内で体験できないクライミングに親子で一緒に登るルートを考えたり、高いところまで登っていく子どもを見守ったりと充実した2時間になりました。また実施して欲しいという声も多く、好評を得た体験活動になりました。



親子で本格ラーメン作り体験



3月9日(土)、ネイチャーみらい館で体験活動事業「親子でラーメン作り体験」を実施しました。講師に与那原町にあるラーメン店“たつぞう”の店長・東郷修三氏を招き、ラーメンについての歴史や沖縄のラーメン事情などの講話も交えながら、スープ作りやトッピング作りのそれぞれの工程をグループに分かれて仕込み調理をしました。参加者の皆さんも真剣なまなざしで作業に取り組み、実際に自分達で作ったラーメンを食べることができ、とても満足していました。体験を通して、日頃から子ども達の成長に欠かせない食文化に取り組むことで食育を図りました。家で食べるインスタントラーメン、お店ですぐに出てくるラーメンを実際に自分たちで作るとどれだけの時間や食材が必要かということを知り、手軽に食べることができるとのありがたさや喜びを感じていました。

▶味付けしたチャーシューを切る様子



▲初めて見るフランベに注目



▲自分達で作ったラーメンの味は最高！



▲ていねいにアク取りをしました。

冬のイン・リーダー研修

去る3月2日・3日に金武町子ども会育成連絡協議会主催による、冬のイン・リーダー研修がおこなわれました。町内の小学5・6年生を対象に、中学生・高校生のリーダーを中心に心肺蘇生法・危険予知トレーニング・野外炊飯・田イモ収穫・試食などが行われました。



(参加した子ども達の感想)

私が、イン・リーダー研修に参加してCPR(心肺蘇生法)やテントをたてたり、田イモ収穫(試食)、KYT(危険・予知・トレーニング)を勉強しました。中でも1番心に残ったことは、田イモの収穫です。自分達で収穫したイモを調理して食べました。田イモを洗うのがとても大変でした。とてもおいしかったです。次にCPRです。金武消防署の人が来て教えてくれました。胸骨圧迫をやってとても疲れました。とても楽しかったし勉強になりました。





▲全体写真

3月3日、金武町立体育館で第8回バスケットボールフェスティバルが行われました。フェスティバルには町内外7チームのバスケット愛好者が参加し熱戦を繰り広げました。



今フェスティバルではリーグ戦を行い、全勝の北野中Gチームが優勝に輝きました。

また、エキシビジョンマッチとして金武小学校バスケットボール部と宜野座小学校バスケットボール部、松田小学校バスケットボール部が対戦し大会を盛り上げてくれました。

◀エキシビジョンマッチの様子

*****編集後記*****

今年も金武町にプロ野球選手がやってきました。こんなに身近にプロの選手を見ることが出来るようになるとは。まるで夢のようです。テレビで見た選手や監督が、声をかければ応えてくれそうな距離にいて、それを応援できるということは、金武町の野球少年たちにも大きな影響を与えることでしょう。選手の皆様の活躍を期待します。

また、今年初めて金武町ベースボールスタジアムでも練習試合が行われました。皆様、生の試合をご覧になりましたか？私共も、補助員として携わらせていただきました。ファールボールのときに「ピーッ」と鳴りましたでしょ？あれ、私です。皆様聞いていただけたでしょうか？あれ、私の「ピーッ」です。